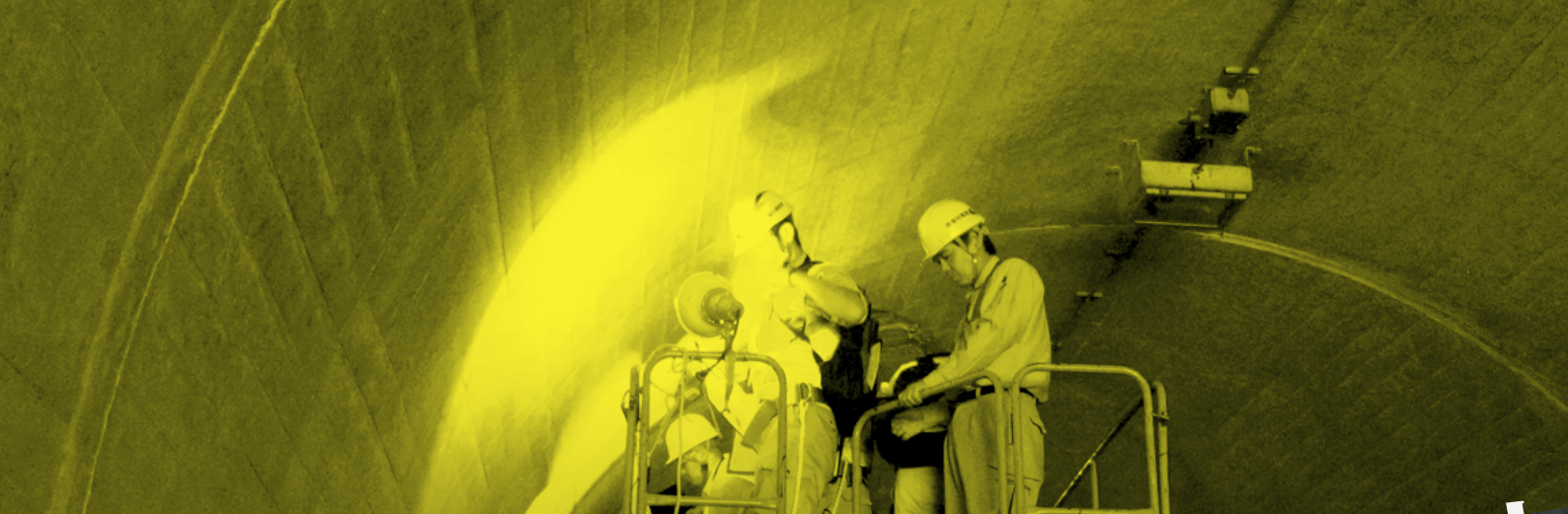

社会基盤メンテナンスエキスパート
ME養成講座

岐阜大学工学部附属
インフラマネジメント技術研究センター

岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター（CIAM）

社会基盤施設（インフラ）の維持管理の重要性が注目されているなか、岐阜大学では、地域のニーズに応えるべく、2008（平成20）年に「社会資本アセットマネジメント技術研究センター」を設立しました。2014（平成26）年４月より、「岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター」と改組し、３つの領域をもつ新たな組織を編成しました。

安心して暮らせるためには安全なインフラであることが何より大切です。そのために、インフラの整備・維持管理等に関するマネジメント技術の先端的教育研究を行う組織です。

「ひと」づくり実践領域（教育・人材育成）

○ 社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座の運営
○ 教育プログラムの質の改善

「しくみ」づくり開発領域（地域連携・制度設計）

○ 民・産・官・学の連携・協働によるインフラ管理が実現するしくみ
○ 地域住民が参加しやすいインフラ管理を実現するための枠組み探索とMEの位置づけ整理

「こと」づくり展開領域（研究開発・技術普及）

○ 地域協働を想定した住民も使えるハードウェア技術の研究・実装化
○ ハードウェア技術革新による維持管理、減災技術の高度化・実装化

連携機関・協力機関

当センターの事業は、以下の機関と連携・協力を図りながら実施しています。

ME養成ユニット運営協議会

●岐阜県　●国土交通省 中部地方整備局
●（一社）岐阜県建設業協会
●（一社）岐阜県測量設計業協会
●（公財）岐阜県建設研究センター

岐阜社会基盤研究所

●岐阜大学工学部社会基盤工学科
●（一社）岐阜県建設業協会　●（一社）岐阜県測量設計業協会
●（一社）岐阜県特殊工事技術協会　●（公財）岐阜県建設研究センター

文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」

●長崎大学　●長岡技術科学大学　●愛媛大学　●山口大学　●舞鶴工業高等専門学校

人材育成に関する協定など

●国立研究開発法人 土木研究所　構造物メンテナンス研究センター
●長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
●国土交通省 中部地方整備局 道路部／中部技術事務所／木曽川下流河川事務所／多治見砂防国道事務所／木曽川上流河川事務所／岐阜国道事務所／越美山系砂防事務所／高山国道事務所／新丸山ダム工事事務所／丸山ダム管理所
●岐阜県 県土整備部　●東海圏減災研究コンソーシアム（静岡大学・名古屋大学・名古屋工業大学・豊橋技術科学大学・三重大学）

社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座

［岐阜大学大学院工学研究科の履修証明プログラム（平成25年度～）］

ME養成講座 年に2回実施

※募集要項などの詳細は、ホームページをご覧ください。

○前期：６月上旬に開始
○後期：８月下旬に開始

1. 受講対象となる土木技術者

官公庁など：社会資本の維持業務を２年以上経験していること。または同等以上の能力を有していること。

建設業界など：社会資本の点検・調査、構造物の新設・補修・補強に係わる設計・施工管理業務を主体的な立場で３年以上経験していること。

2. 系統立った４週間連続の短期集中プログラム

１日４コマ(90分)×20日間、５科目の講義（1科目16コマ）

「インフラマネジメント」「橋梁の設計・トンネル」「橋梁の維持管理」「地盤と斜面」「土構造物・水道・河川構造物」

3. 全国の一線級の講師（大学教員、行政職員、コンサルタント関係者、建設業関係者など）

4. 全講座を修了すると、岐阜大学より「履修証明書」が授与され、ME認定試験の受検資格を取得

5. ＭＥ認定試験に合格すると、岐阜大学よりＭＥに認定

ME養成講座修了生(ME) の声

□自分の専門以外の分野についても学ぶことができ、知らないことの方が多いことを知りました。
□広範囲な技術・知識・実技に触れ、吸収しきれないほどの様々な知識・情報の講義でした。いい意味で期待を裏切られました。
□構造物の劣化原因は複合的であることが多く、対処方法も日進月歩です。役所・コンサル・施工業と様々な立場、様々な年齢の方々と同列に分け隔てなく一ヶ月過ごせたことは大変刺激的で、意見をぶつけ合うことができたのは大変よかったです。
□これからも自己研鑽を続けていこうと心に誓いました。
□普通では絶対に出会わない人達と出会い、人と人のつながりが貴重な財産となりました。

履修証明プログラムとは

平成19年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。通常の学生を対象とする学位プログラムに加え、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できることになりました。

社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）として

1. 岐阜県における「MEの技術力を活用した効率的な維持管理」として、点検・修繕包括業務
2. 岐阜県建設工事総合評価落札方式の加点対象
3. メンテナンスサポーター（MS）の講義
4. 各種技術研修等の講師
5. 同窓会組織「MEの会」

MEの会は、ともに技術と知識を学んだ仲間として、発注者・受注者、職種、年齢などの壁のない技術を核とした人材ネットワークを形成し、インフラメンテナンス技術で社会に貢献します。

1 平成28年度より 国土交通省の技術資格に登録

民間事業者等が付与する「技術者資格」を国土交通省が登録し、社会資本に関する調査・設計等の発注業務で活用する取り組みであり、国及び地方公共団体の業務発注に際し、資格保有者が活用されます。岐阜大学の社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）は、以下の６つの区分に登録されました。

- ●橋梁（鋼橋）の点検
- ●橋梁（コンクリート橋）の点検
- ●トンネルの点検
- ●橋梁（鋼橋）の診断
- ●橋梁（コンクリート橋）の診断
- ●トンネルの診断

2 平成28年度より 文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」として認定

岐阜大学 ME養成講座
Brush up Program for professional

大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定し、受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的としています。

3 平成28年度より 厚生労働省「専門実践教育訓練給付金」の支給対象として認定

労働者の中長期的なキャリア形成に資するための専門的かつ実践的な教育訓練として専門実践教育訓練の指定を受けた講座受講の支援策です。

文部科学省の「職業実践力育成プログラム」（BP）および厚生労働省の専門実践教育訓練の受講に関する支援は、省庁を横断した就業者支援であり、近年減少している建設関連就業者の増加に資する制度です。これを活用することで、岐阜大学は地域の活性化に貢献します。

MEの活躍の場がどんどん増えています！！

お申し込み・お問い合わせ先

岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1　TEL&FAX：058-293-2419
E-mail：ciam-secretary@gifu-u.ac.jp

［詳細は、ホームページをご覧ください］ http://www1.gifu-u.ac.jp/~ciam/